

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

ATTORNEY DOCKET NO. 016907/1153

jc480 U.S. PTO
09/667102
09/21/00

Applicant: Gaku TAKANO et al.

Title: IMAGE PROCESSING APPARATUS AND IMAGE PROCESSING METHOD

Appl. No.: Unassigned

Filing Date: 09/21/2000

Examiner: Unassigned

Art Unit: Unassigned

UTILITY PATENT APPLICATION
TRANSMITTAL

Assistant Commissioner for Patents
Box PATENT APPLICATION
Washington, D.C. 20231

Sir:

Transmitted herewith for filing under 37 C.F.R. § 1.53(b) is the nonprovisional utility patent application of:

Gaku TAKANO
Takahiro FUCHIGAMI

Enclosed are:

- [X] Non-English Specification, Claim(s), and Abstract (28 pages).
- [X] Informal drawings (9 sheets, Figures 1-16).
- [X] Declaration and Power of Attorney (2 pages).
- [X] Assignment of the invention to TOSHIBA TEC KABUSHIKI KAISHA.
- [X] Assignment Recordation Cover Sheet.

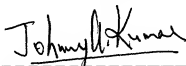
The filing fee is calculated below:

	Claims as Filed	Included in Basic Fee	Extra Claims	Rate	Fee Totals
Basic Fee				\$690.00	\$690.00
Total Claims:	24	- 20	= 4	x \$18.00	= \$72.00
Independents:	9	- 3	= 6	x \$78.00	= \$468.00
If any Multiple Dependent Claim(s) present:				+ \$260.00	= \$0.00
Assignment Recording Fee per property				+ \$40.00	= \$40.00
Surcharge Under 37 C.F.R. 1.17(k) for Non-English Text				+ \$130.00	= \$130.00
				SUBTOTAL:	= \$1400.00
[] Small Entity Fees Apply (subtract 1/2 of above):				=	\$0.00
				TOTAL FILING FEE:	= \$1400.00

- [X] A check in the amount of \$1,400.00 to cover the filing fee is enclosed.
- [] The required filing fees are not enclosed but will be submitted in response to the Notice to File Missing Parts of Application.
- [X] The Assistant Commissioner is hereby authorized to charge any additional fees which may be required regarding this application under 37 C.F.R. §§ 1.16-1.17, or credit any overpayment, to Deposit Account No. 19-0741. Should no proper payment be enclosed herewith, as by a check being in the wrong amount, unsigned, post-dated, otherwise improper or informal or even entirely missing, the Assistant Commissioner is authorized to charge the unpaid amount to Deposit Account No. 19-0741.

Please direct all correspondence to the undersigned attorney or agent at the address indicated below.

Respectfully submitted,



Johnny A. Kumar
Attorney for Applicant
Registration No. 34,649

September 21, 2000

Date

FOLEY & LARDNER
Washington Harbour
3000 K Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20007-5109
Telephone: (202) 672-5489
Facsimile: (202) 672-5399

SPECIFICATION

TITLE OF THE INVENTION

画像処理装置と画像処理方法 IMAGE PROCESSING APPARATUS AND
IMAGE PROCESSING METHOD

BACKGROUND OF THE INVENTION

この発明は、たとえば、スキャナなどの画像入力手段により原稿の画像を読み取って入力し、この入力された画像に対し画質調整や編集処理、あるいは圧縮・伸長など所定の画像処理を行った後、その画像を電子写真方式のプリンタなどの画像出力手段により用紙上に出力するデジタル複写機などの画像形成装置に用いられる画像処理装置に関する。

スキャナで読み取った画像データを圧縮するには、MH (modified Huffman) 圧縮法やMR (modified READ) 圧縮法などがある。MH圧縮では、走査線単位で2値化された画像データから、ラン長と呼ばれる白画素・黒画素の続く長さを抽出し、抽出された長さの値を符号化する。この符号はハフマン符号と呼称される周知の可変長符号である。ハフマン符号化では、出現頻度の高いものに対して短い符号を、出現頻度の低いものに対して長い符号を割り当てることによって、画像データの圧縮を実現している。MR圧縮とは、上記MH圧縮を基に、隣接する走査線間の相関を利用することによって符号化効率の向上を図るものである。これらMH圧縮とMR圧縮を選択して最適なデータの圧縮を行う処理方法もある。

また、隣接する画像データの相関を利用して情報源の統計的性質が未知の場合でも、ランレングス符号を用いたデータ圧縮を行えるようにしたデータ圧縮法もある。

しかしながら、スキャナから入力された原稿複数枚分の複数の静止画像データが、例えば、帳票などのように同一書式の原稿画像が連続する場合、共通部分の画像が多くあるにもかかわらず上述したような方法でそれぞれの画像データごとに圧縮しなければならない。これでは、共通部分の画像の圧縮を画像データごとに行うので無駄に時間を使うと共に圧縮したデータ量も多くなってしまい圧縮の効率が悪いという問題があった。

BRIEF SUMMARY OF THE INVENTION

この発明は、同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データの場合に効率良く圧縮することのできる画像処理装置と画像処理方法を提供することを目的とする。

上記目的を達成するために、

この発明は、同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データが入力された際、この複数の静止画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相関情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段で抽出された画像相関情報を符号化データに符号化する符号化手段と、この符号化手段で符号化された符号化データと上記基準画像データとを出力する出力手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、基準となる基準画像データと複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相関情報が符号化された符号化データとを入力する入力手段と、この入力手段で入力された符号化データからそれぞれの画像相関情報を復号する復号化手段と、この復号化手段で復号されたそれぞれの画像相関情報と上記入力手段に入力された基準画像データとから複数の静止画像データを復元する画像復元手段と、を有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データが入力された際、この複数の静止画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相関情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段で抽出されたそれぞれの画像相関情報を第1の符号化データに符号化する第1の符号化手段と、上記基準画像データを第2の符号化データに符号化する第2の符号化手段と、この第2の符号化手段で符号化された第2の符号化データと上記第1の符号化手段で符号化された第1の符号化データとを出力する出力手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、基準となる基準画像データを符号化した第1の符号化データと複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相関情報が符号化された第2の符号化データとを入力する入力手段と、この入力手段で入力された第1の符号化データか

ら基準画像データを復号する第1の復号手段と、上記入力手段で入力された第2の符号化データからそれぞれの画像相関情報を復号する第2の復号化手段と、この第2の復号化手段で復号されたそれぞれの画像相関情報と上記第1の復号化手段で復号された基準画像データとから複数の静止画像データを復元する画像復元手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、同一書式の原稿画像が連続する複数の静止2値画像データが入力された際、画像間のハミング距離を小さくする順に画像データを並び換えて画像相関度を向上させる画像相関度向上手段と、この画像相関度向上手段で並び換えられた複数の静止2値画像データから、並び順に応じて前画像データと後画像データの対応する画素位置での画素値の排他的論理和を演算することによりそれぞれの画像相関情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段で抽出されたそれぞれの画像相関情報をランレングス符号化により符号化データに圧縮する符号化手段と、この符号化手段でランレングス符号化された符号化データと上記画像相関度向上手段で並び換えられた1番目の画像データとを出力する出力手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、入力される同一書式の原稿画像が連続する複数の静止多値画像データをグレイコードに変換するコード変換手段と、このコード変換手段でグレイコードに変換された複数の静止多値画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止多値画像データ間のそれぞれの画像相関情報を同一ビットの排他的論理和演算により抽出する抽出手段と、この抽出手段で抽出されたそれぞれの画像相関情報の零値のランを調ベントロピ符号化して第1の符号化データにする第1の符号化手段と、上記基準画像データを第2の符号化データに符号化する第2の符号化手段と、この第2の符号化手段で符号化された第2の符号化データと上記第1の符号化手段で符号化された第1の符号化データとを出力する出力手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、基準となる基準画像データを符号化した第2の符号化データと複数の静止多値画像データ間のそれぞれの画像相関情報を符号化した第1の符号化データとを入力する入力手段と、この入力手段で入力された第2の符号化データ

から基準画像データを復号する第1の復号手段と、上記入力手段で入力された第1の符号化データからそれぞれの画像相関情報をエントロピ符号の復号方法に基づいて復号する第2の復号化手段と、この第2の復号化手段で復号されたそれぞれの画像相関情報と上記第1の復号化手段で復号された基準画像データとから論理演算により複数の静止多値画像データを復元する画像復元手段と、この画像復元手段で復元された複数の静止多値画像データをグレイコードから元のコードに変換するコード変換手段とを有することを特徴とする画像処理装置を提供するものである。

この発明は、同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データが入力された際、この複数の静止画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相関情報を抽出し、この抽出されたそれぞれの画像相関情報を符号化データに符号化し、この符号化された符号化データと上記基準画像データとを出力するようにしたことを特徴とする画像処理方法を提供するものである。

この発明は、基準となる基準画像データと複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相関情報が符号化された符号化データとを入力し、この入力された符号化データからそれぞれの画像相関情報を復号し、この復号されたそれぞれの画像相関情報と上記基準画像データとから複数の静止画像データを復元するようにしたことを特徴とする画像処理方法を提供するものである。

BRIEF DESCRIPTION OF SEVERAL VIEWS OF THE DRAWING

FIG. 1は、本発明の実施の形態に係るデジタル複写機などの画像形成装置の内部構成を模式的に示す側面図；

FIG. 2は、FIG. 1に示した画像形成装置の電気的接続および制御のための信号の流れを概略的に示すブロック図；

FIG. 3は、第1実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 4は、複数枚の静止画像データを効率良く圧縮する動作を説明するためのフローチャート；

FIG. 5は、第2実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 6は、複数枚の画像データを復元する動作を説明するためのフローチャー

ト；

FIG. 7 は、第 3 実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 8 は、複数枚の静止画像データを効率良く圧縮する動作を説明するためのフローチャート；

FIG. 9 は、第 4 実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 10 は、複数枚の画像データを復元する動作を説明するためのフローチャート；

FIG. 11 は、第 5 実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 12 は、複数枚の静止画像データを効率良く圧縮する動作を説明するためのフローチャート；

FIG. 13 は、第 6 実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 14 は、複数枚の静止画像データを効率良く圧縮する動作を説明するためのフローチャート；

FIG. 15 は、第 7 実施例に係る画像処理装置の概略構成を示す図；

FIG. 16 は、複数枚の画像データを復元する動作を説明するためのフローチャートである。

DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION

以下、この発明の一実施の形態について図面を参照して説明する。

FIG. 1 は、本発明に係る画像処理装置を有するデジタル複写機の内部構成を示すものである。このデジタル複写機は、たとえば、複写機、ファクシミリ、プリンタの 3 機能を有する複合形の複写機である。

FIG. 1 において、10 は装置本体で、この装置本体 10 内には、画像入力手段としてのスキャナ部 4、および、画像出力手段としてのプリンタ部 6 が設けられている。

装置本体 10 の上面には、読取対象物としての原稿 D が載置される透明ガラスからなる原稿載置台 12 が設けられている。また、装置本体 10 の上面には、原稿載置台 12 上に原稿 D を自動的に送る自動原稿送り装置（以下、ADF と略称する）7 が配設されている。この ADF 7 は、原稿載置台 12 上に対して開閉可能に配設され、原稿載置台 12 上に載置された原稿 D を原稿載置台 12 上に密着

させる原稿押えとしても機能する。

ADF 7は、原稿Dがセットされる原稿トレイ 8、原稿の有無を検出するエンピティセンサ 9、原稿トレイ 8から原稿Dを1枚づつ取出すピックアップローラ 14、取出された原稿Dを搬送する給紙ローラ 15、原稿Dの先端を整位するアライニングローラ対 16、原稿載置台 12上のほぼ全体を覆うように配設された搬送ベルト 18を備えている。そして、原稿トレイ 8に上向きにセットされた複数枚の原稿Dは、その最下の頁、つまり、最終頁から順に取出され、アライニングローラ対 16により整位された後、搬送ベルト 18によって原稿載置台 12上の所定位置へ搬送される。

ADF 7において、搬送ベルト 18を挟んでアライニングローラ対 16と反対側の端部には、反転ローラ 20、非反転センサ 21、フラップ 22、および、排紙ローラ 23が配設されている。スキャナ部 4により画像情報の読み取られた原稿Dは、搬送ベルト 18により原稿載置台 12上から送り出され、反転ローラ 20、フラップ 21、および、排紙ローラ 22を介してADF 7上面の原稿排紙部 24上に排出される。原稿Dの裏面を読み取る場合、フラップ 22を切換えることにより、搬送ベルト 18によって搬送されてきた原稿Dは、反転ローラ 20によって反転された後、再度、搬送ベルト 18により原稿載置台 12上の所定位置に送られる。

装置本体 10内に配設されたスキャナ部 4は、原稿載置台 12上に載置された原稿Dを照明する光源としての露光ランプ 25、および、原稿Dからの反射光を所定の方向に反射する第1のミラー 26を有し、これらの露光ランプ 25および第1のミラー 26は、原稿載置台 12の下方に配設された第1のキャリッジ 27に取付けられている。第1のキャリッジ 27は、原稿載置台 12と平行に移動可能に配設され、図示しない歯付きベルトなどを介して駆動モータにより、原稿載置台 12の下方を往復移動される。

原稿載置台 12の下方には、原稿載置台 12と平行に移動可能な第2のキャリッジ 28が配設されている。第2のキャリッジ 28には、第1のミラー 26により反射された原稿Dからの反射光を順に反射する第2および第3のミラー 30、31が互いに直角に取付けられている。第2のキャリッジ 28は、第1のキャリ

ッジ27を駆動する歯付きベルトなどにより、第1のキャリッジ27に対して従動されるとともに、第1のキャリッジに対して1/2の速度で原稿載置台12に沿って平行に移動される。

原稿載置台12の下方には、第2のキャリッジ28上の第3のミラー31からの反射光を集束する結像レンズ32と、結像レンズ32により集束された反射光を受光して光電変換する光電変換手段としてのCCD形のラインセンサ34とが配設されている。結像レンズ32は、第3のミラー31により反射された光の光軸を含む面内に、駆動機構を介して移動可能に配設され、自身が移動することで反射光を所望の倍率で結像する。そして、ラインセンサ34は、入射した反射光を光電変換し、読み取った原稿Dに対応する電気信号を出力する。

一方、プリンタ部6は、潜像形成手段としてのレーザ露光装置40を備えている。レーザ露光装置40は、光源としての半導体レーザ発振器41と、半導体レーザ発振器41から出射されたレーザ光を連続的に偏向する走査部材としてのポリゴンミラー36と、ポリゴンミラー36を後述する所定の回転数で回転駆動する走査モータとしてのポリゴンモータ37と、ポリゴンミラー36からのレーザ光を偏向して後述する感光体ドラム44へ導く光学系42とを備えている。このような構成のレーザ露光装置40は、装置本体10の図示しない支持フレームに固定支持されている。

半導体レーザ発振器41は、スキャナ部4により読み取られた原稿Dの画像情報、あるいは、ファクシミリ送受信文書情報などに応じてオン・オフ制御され、そのレーザ光はポリゴンミラー36および光学系42を介して感光体ドラム44へ向けられ、感光体ドラム44の周面上を露光走査することにより、感光体ドラム44の周面上に静電潜像を形成する。

また、プリンタ部6は、装置本体10のほぼ中央に配設された像担持体としての回転自在な感光体ドラム44を有し、感光体ドラム44の周面は、レーザ露光装置40からのレーザ光により露光走査され、所望の静電潜像が形成される。感光体ドラム44の周囲には、感光体ドラム44の周面を所定の電荷に帯電させる帯電用帯電器45、感光体ドラム44上に形成された静電潜像に現像剤としてのトナーを供給して所望の画像濃度で現像する現像手段としての現像器46、後述

する給紙カセットから供給された被画像形成媒体としての用紙Pを感光体ドラム44から分離させるための剥離用帯電器47、感光体ドラム44上に形成されたトナー像を用紙Pに転写させる転写用帯電器48、感光体ドラム44の周面から用紙Pを剥離する剥離爪49、感光体ドラム44の周面に残留したトナーを清掃する清掃装置50、および、感光体ドラム44の周面を除電する除電器51が順に配置されている。

装置本体10内の下部には、それぞれ装置本体10から引出し可能な上段給紙カセット52、中段給紙カセット53、下段給紙カセット54が互いに積層状態に配設され、各給紙カセット52～54内にはサイズの異なる用紙Pが装填されている。これらの給紙カセット52～54の側方には大容量フィーダ55が設けられ、この大容量フィーダ55には、使用頻度の高いサイズの用紙P、たとえば、A4サイズの用紙Pが約3000枚収納されている。また、大容量フィーダ55の上方には、手差しトレイ56を兼ねた給紙カセット57が脱着自在に装着されている。

装置本体10内には、各給紙カセット52～54および大容量フィーダ55から感光体ドラム44と転写チャージャ48との間に位置した転写部を通して延びる搬送路58が形成され、この搬送路58の終端には、定着ランプ60aを有する定着装置60が設けられている。定着装置60に対向した装置本体10の側壁には排出口61が形成され、この排出口61にはシングルトレイのフィニッシャー150が装着されている。

上段給紙カセット52、中段給紙カセット53、下段給紙カセット54、給紙カセット57の近傍および大容量フィーダ55の近傍には、給紙カセット52～54、57あるいは大容量フィーダ55から用紙Pを1枚ずつ取出すピックアップローラ63がそれぞれ設けられている。また、搬送路58には、ピックアップローラ63により取出された用紙Pを搬送路58を通して搬送する多数の給紙ローラ対64が設けられている。

搬送路58において、感光体ドラム44の上流側にはレジストローラ対65が設けられている。レジストローラ対65は、取出された用紙Pの傾きを補正するとともに、感光体ドラム44上のトナー像の先端と用紙Pの先端とを整合させ、

感光体ドラム44の周面の移動速度と同じ速度で用紙Pを転写部へ供給する。レジストローラ対65の手前、つまり、給紙ローラ64側には、用紙Pの到達を検出するアライニング前センサ66が設けられている。

ピックアップローラ63により、各給紙カセット52～54、57あるいは大容量フィーダ55から1枚ずつ取出された用紙Pは、給紙ローラ対64によりレジストローラ対65へ送られる。そして、用紙Pは、レジストローラ対65により先端が整位された後、転写部に送られる。

転写部において、感光体ドラム44上に形成された現像剤像、つまり、トナー像が、転写用帯電器48により用紙P上に転写される。トナー像の転写された用紙Pは、剥離用帯電器47および剥離爪49の作用により感光体ドラム44の周面から剥離され、搬送路52の一部を構成する搬送ベルト67を介して定着装置60に搬送される。そして、定着装置60によって現像剤像が用紙P上に溶融定着された後、用紙Pは、給紙ローラ対68および排紙ローラ対69により排出口61を通してフィニッシャ150上へ排出される。

搬送路58の下方には、定着装置60を通過した用紙Pを反転して再びレジストローラ対65へ送る自動両面装置70が設けられている。自動両面装置70は、用紙Pを一時的に集積する一時集積部71と、搬送路58から分岐し、定着装置60を通過した用紙Pを反転して一時集積部71に導く反転路72と、一時集積部71に集積された用紙Pを1枚ずつ取出すピックアップローラ73と、取出された用紙Pを搬送路74を通してレジストローラ対65へ供給する給紙ローラ75とを備えている。また、搬送路58と反転路72との分岐部には、用紙Pを排出口61あるいは反転路72に選択的に振分ける振分けゲート76が設けられている。

両面複写を行なう場合、定着装置60を通過した用紙Pは、振分けゲート76により反転路72に導かれ、反転された状態で一時集積部71に一時的に集積された後、ピックアップローラ73および給紙ローラ対75により、搬送路74を通してレジストローラ対65へ送られる。そして、用紙Pはレジストローラ対65により整位された後、再び転写部に送られ、用紙Pの裏面にトナー像が転写される。その後、用紙Pは、搬送路58、定着装置60および排紙ローラ69を介

してフィニッシャ１５０に排紙される。

フィニッシャ１５０は、排出された一部構成の文書を一部単位でステーブル止めて貯めていくものである。ステーブルする用紙Pが１枚、排出口６１から排出される度にガイドバー１５１にてステーブルされる側に寄せて整合する。全てが排出され終わると、紙押えアーム１５２が排出された一部単位の用紙Pを抑え、ステーブラユニット（図示しない）がステーブル止めを行なう。

その後、ガイドバー１５１が下がり、ステーブル止めが終わった用紙Pは、その一部単位でフィニッシャ排出ローラ１５５にてフィニッシャ排出トレイ１５４に排出される。フィニッシャ排出トレイ１５４の下がる量は、排出される用紙Pの枚数によりある程度決められ、一部単位に排出される度にステップ的に下がる。また、排出される用紙Pを整合するガイドバー１５１は、フィニッシャ排出トレイ１５４上に載った既にステーブル止めされた用紙Pに当たらないような高さの位置にある。

また、フィニッシャ排出トレイ１５４は、ソートモード時、一部ごとにシフト（たとえば、前後左右の４つの方向へ）するシフト機構（図示しない）に接続されている。

なお、装置本体１０の前面上部には、様々な複写条件並びに複写動作を開始させる複写開始命令などを入力したり、動作状態などを表示する操作パネル８０（図示しない）が設けられている。

FIG. 2は、FIG. 1に示したデジタル複写機の電氣的接続および制御のための信号の流れを概略的に表わすブロック図を示している。FIG. 2において、制御系は、主制御部９０内のメインCPU 91と、スキャナ部４のスキャナCPU 100と、プリンタ部６のプリンタCPU 110の３つのCPU（セントラル・プロセッシング・ユニット）で構成され、これらは共有バス１２０で接続されている。

メインCPU 91は、プリンタCPU 110と共有RAM 95を介して双方向通信を行なうものであり、メインCPU 91は動作指示をだし、プリンタCPU 110は状態ステータスを返すようになっている。プリンタCPU 110とスキャナCPU 100はシリアル通信を行ない、プリンタCPU 110は動作指示をだし、スキャナCPU 100は状態ステータスを返すようになっている。

共有バス120は、PCIバスのような完全同期形バスで、アドレスバスとデータバスは同じ信号線を時分割で利用するものであり、CPUを介したプログラムI/O転送、周辺デバイスがバスマスタとしてバスを制御し、直接メモリなどにアクセスするバスマスタによるデータ転送が可能である。

操作パネル80は、各種操作キー81、液晶表示部82、および、これらが接続されたパネルCPU83を有し、メインCPU91に接続されている。

主制御部90は、メインCPU91、ROM92、RAM93、NVRAM94、共有RAM95、画像処理装置96、ページメモリ制御部97、および、ページメモリ98によって構成されている。

メインCPU91は、全体的な制御を司るものである。ROM92は、メインCPU91の制御プログラムなどが記憶されている。RAM93は、一時的に各種データを記憶するものである。

NVRAM (持久ランダムアクセスメモリ: nonvolatile RAM) 94は、バッテリー (図示しない) にバックアップされた不揮発性のメモリであり、電源を遮断しても記憶データを保持するようになっている。

共有RAM95は、メインCPU91とプリンタCPU110との間で、双方向通信を行なうために用いるものである。

ページメモリ制御部97は、ページメモリ98に対して画像情報を記憶したり、読出したりするものである。ページメモリ98は、複数ページ分の画像情報を記憶できる領域を有し、スキャナ部4からの画像情報を圧縮したデータを1ページ分ごとに記憶可能に形成されている。

スキャナ部4は、全体の制御を司るスキャナCPU100、制御プログラムなどが記憶されているROM101、データ記憶用のRAM102、ラインセンサ34を駆動するCCDドライバ103、露光ランプ25およびミラー26, 27, 28などを移動する走査モータの回転を制御する走査モータドライバ104、および、画像補正部105などによって構成されている。

画像補正部105は、ラインセンサ34からのアナログ信号をデジタル信号に変換するA/D変換回路、ラインセンサ34のばらつき、あるいは、周囲の温度変化などに起因するラインセンサ34からの出力信号に対するスレッシュホールドレ

ベルの変動を補正するためのシェーディング補正回路、および、シェーディング補正回路からのシェーディング補正されたデジタル信号を一旦記憶するラインメモリなどから構成されている。

プリンタ部6は、全体の制御を司るプリンタCPU110、制御プログラムなどが記憶されているROM111、データ記憶用のRAM112、半導体レーザ発振器41を駆動するレーザドライバ113、レーザ露光装置40のポリゴンモータ37を駆動するポリゴンモータドライバ114、搬送路58による用紙Pの搬送を制御する搬送制御部115、帯電用帯電器45、現像器46、転写用帯電器48を用いて帯電、現像、転写を行なうプロセスを制御するプロセス制御部116、定着装置60を制御する定着制御部117、およびオプションを制御するオプション制御部118などによって構成されている。

なお、画像補正部105、ページメモリ98、画像処理装置96、および、レーザドライバ113はシリアルに接続され、この順に画像データが流れるようになっている。ただし、ページメモリ98内に蓄積せずに、画像補正部105から画像処理装置96へ画像データを流すことも可能である。

本発明は、特に帳票などのような同一書式の原稿画像が連続した複数の静止画像データ（複数枚の静止画像データ）の圧縮を効率良く行うものである。

次に、本発明の複数の静止画像データを各画像データの相関性を利用して効率良く圧縮する画像処理装置96の構成を説明する。

FIG. 3は、本発明の第1実施例に係る画像処理装置96の概略構成を示すものである。FIG. 3において、画像処理装置96の画像相関情報抽出手段211は、入力される複数枚の画像データから基準画像データ（例えば、最初の画像データ）を含む画像データ間の相関情報を抽出する。また、この基準画像データは、データ出力手段に送られる。画像相関情報抽出手段211で抽出された画像相関情報は、符号化手段212に送られる。符号化手段212は、入力される画像相関情報を圧縮して画像相関情報符号化データとする。符号化手段212で圧縮された画像相関情報符号化データは、データ出力手段213に送られる。データ出力手段213は、入力される画像相関情報符号化データと基準画像データとを出力する。

ここで、画像相関情報抽出手段 211 における画像相関情報の抽出について説明する。第 1 実施例に係る画像相関情報抽出手段 211 は、画像（ビットマップ画像の場合）間の画像相関情報を Exclusive OR（排他的論理和）を用いて抽出する。

すなわち、複数枚の画像データを $P_0(i, j)$ 、…、 $P_n(i, j)$ とする。

これらの画像相関情報は、

$$d_{0, 1}(i, j) = P_0(i, j) \text{ EOR } P_1(i, j)$$

$$d_{1, 2}(i, j) = P_1(i, j) \text{ EOR } P_2(i, j)$$

$$d_{2, 3}(i, j) = P_2(i, j) \text{ EOR } P_3(i, j)$$

.

.

.

$$d_{n-1, n}(i, j) = P_{n-1}(i, j) \text{ EOR } P_n(i, j)$$

となる。

すなわち、画像相関情報抽出手段 211 は、順序づけられて入力された複数枚の画像データから、順序に応じて前画像データと後画像データの対応する画素位置での画素値の Exclusive OR（排他的論理和）を演算することにより画像相関情報を抽出する。例えば、順序に応じた前画像データが $P_0(i, j)$ で、後画像データが $P_1(i, j)$ の場合、画像相関情報は、 $d_{0, 1}(i, j)$ となる。

続いて、符号化手段 212 における画像相関情報を圧縮した画像相関情報符号化データについて説明する。符号化手段 212 は、最初の画像データ（基準画像データ）及び画像相関情報（ $n-1$ 枚）をそれぞれランレングス符号化する。各画像の相関性が高い場合（似たような画像）の場合は、「0」が連続するため、画像相関情報が高効率で圧縮される。

次に、第 1 実施例における画像処理装置 96 で複数枚の静止画像データを各画像データの相関性を利用して効率良く圧縮する動作を FIG. 4 のフローチャートを参照して説明する。

まず、スキャナ部 4 で読み取られた複数枚の画像データが入力されたものとする（ST1）。この複数枚の画像データは、帳票などの同一書式の下原稿画像が連

続するものとする。

画像処理装置 9 6 において、入力された複数枚の画像データは、最初の画像データを基準画像データとして画像相関情報抽出手段 2 1 1 で画像相関情報が抽出され (S T 2)、符号化手段 2 1 2 に送られる。また、上記入力された複数枚の画像データにおける最初の画像データが基準画像データとしてデータ出力手段 2 1 3 に送られる。画像相関情報は、符号化手段 2 1 2 で圧縮されて画像相関情報符号化データとされ (S T 3)、データ出力手段 2 1 3 に送られる。データ出力手段 2 1 3 は、入力される画像相関情報符号化データと基準画像データ (最初の画像データ) とをページメモリ 9 8 に出力する (S T 4)。

FIG. 5 は、本発明の第 2 実施例に係る画像処理装置 9 6 の概略構成を示すものである。本第 2 実施例では、第 1 実施例で圧縮した画像データを復元する。

FIG. 5 において、データ入力手段 2 2 1 は、入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段 2 2 2 に送り、入力される基準画像データを画像復元手段 2 2 3 に送る。画像相関情報復号化手段 2 2 2 は、入力される画像相関情報符号化データから画像相関情報を復号する。画像相関情報復号化手段 2 2 2 で復号された画像相関情報は、画像復元手段 2 2 3 に送られる。画像復元手段 2 2 3 は、入力される基準画像データと画像相関情報とから複数枚の画像データを復元する。

上記第 1 実施例では圧縮を説明したが、本第 2 実施例では P 0 の符号化データを伸長して、P 0 (i, j) を得る。

続いて得られた P 0 (i, j) を用いて、d_0, 1 を伸長し、

$$P 1 (i, j) = \text{NOT} (d_{0, 1} (i, j)) \text{ AND } P 0 (i, j)$$

により P 1 を得る。

同様に、

$$P 2 (i, j) = \text{NOT} (d_{1, 2} (i, j)) \text{ AND } P 1 (i, j)$$

.

.

$$P n (i, j) = \text{NOT} (d_{n-1, n} (i, j)) \text{ AND } P n-1 (i, j)$$

として P 2 ~ P n を得る。

上記から分かるように d_{l-1} 、 $l(i, j)$ が 1 の時だけ P_{l-1} の画像を書き換えれば良い。ページメモリ 98 上に複数画像データを順にロードするような場合、書き換えに必要な信号が大幅に削減される。

このように、画像復元手段 223 は、基準画像データと次画像データに関する画像相関情報と基準画像データとの論理演算により次画像データを復元し、この復元された次画像データと次々画像データに関する画像相関情報と次画像データとの論理演算により次々画像データを復元し、さらに順序に応じた前画像データと後画像データに関する画像相関情報と復元された前画像データとの論理演算により後画像データを復元することにより複数枚の静止画像データを復元する。

次に、第 2 実施例における画像処理装置 96 で複数枚の画像データを復元する動作を FIG. 6 のフローチャートを参照して説明する。

画像処理装置 96 において、ページメモリ 98 から画像相関情報符号化データと基準画像データとがデータ入力手段 221 に送られる (ST11)。データ入力手段 221 は、入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段 222 に送り、入力される基準画像データを画像復元手段 223 に送る。画像相関情報復号化手段 222 に送られた画像相関情報符号化データは、画像相関情報に復号され (ST12)、画像復元手段 223 に送られる。画像復元手段 223 は、入力される画像相関情報と基準画像データとから複数枚の画像データに復元する (ST13)。

FIG. 7 は、本発明の第 3 実施例に係る画像処理装置 96 の概略構成を示すものである。FIG. 7 において、画像処理装置 96 の画像相関情報抽出手段 231 は、入力される複数枚の画像データから基準画像データ (最初の画像データ) を含む画像データ間の相関情報を抽出する。画像相関情報抽出手段 231 で抽出された画像相関情報は、第 2 の符号化手段 233 に送られる。また、第 1 の符号化手段 232 は、入力される複数枚の画像データのうち基準画像データを圧縮して基準画像データ符号化データとする。第 1 の符号化手段 232 で圧縮された基準画像データ符号化データは、データ出力手段 234 に送られる。第 2 の符号化手段 233 は、入力される画像相関情報を圧縮して画像相関情報符号化データとする。第 2 の符号化手段 233 で圧縮された画像相関情報符号化データは、データ

出力手段 2 3 4 に送られる。データ出力手段 2 3 4 は、入力される基準画像データ符号化データと画像相関情報符号化データとをページメモリ 9 8 に出力する。

本第 3 実施例においては、基準画像データを第 1 の符号化手段 2 3 2 で符号化する構成のみ第 1 実施例と異なるだけである。

次に、第 3 実施例における画像処理装置 9 6 で複数枚の静止画像データを各画像データの相関性を利用して効率良く圧縮する動作を FIG. 8 のフローチャートを参照して説明する。

まず、スキャナ部 4 で読み取られた複数枚の画像データが入力されたものとする (S T 2 1)。この複数枚の画像データは、帳票などの同一書式の原稿画像が連続するものとする。

画像処理装置 9 6 において、入力された複数枚の画像データにおける最初のデータを基準画像データとし、この基準画像データは、第 1 の符号化手段 2 3 2 で圧縮されて基準画像データ符号化データとされ (S T 2 2)、データ出力手段 2 3 4 に送られる。また、入力された複数枚の画像データは、最初の画像データを基準画像データとして画像相関情報抽出手段 2 3 1 で画像相関情報が抽出され (S T 2 3)、第 2 の符号化手段 2 3 3 に送られる。画像相関情報は、符号化手段 2 3 3 で圧縮されて画像相関情報符号化データとされ (S T 2 4)、データ出力手段 2 3 4 に送られる。データ出力手段 2 3 4 は、入力される画像相関情報符号化データと基準画像データ符号化データとをページメモリ 9 8 に出力する (S T 2 5)。

上述したように第 3 実施例においては、基準画像データも符号化することにより、第 1 実施例よりもさらに効率よく圧縮することができる。

FIG. 9 は、本発明の第 4 実施例に係る画像処理装置 9 6 の概略構成を示すものである。本第 4 実施例では、第 3 実施例で圧縮した画像データを復元する。

FIG. 9 において、データ入力手段 2 4 1 は、入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段 2 4 2 に送り、入力される基準画像データ符号化データを復号化手段 2 4 3 に送る。画像相関情報復号化手段 2 4 2 は、入力される画像相関情報符号化データから画像相関情報を復号する。画像相関情報復号化手段 2 4 2 で復号された画像相関情報は、画像復元手段 2 4 4 に送られる。ま

た、復号化手段２４３は、入力される基準画像データ符号化データから基準画像データを復号する。復号化手段２４３で復号された基準画像データは、画像復元手段２４４に送られる。画像復元手段２４４は、入力される基準画像データと画像相関情報とから複数枚の画像データを復元する。

本第４実施例においては、基準画像データ符号化データを復号化手段２４３で復号する構成のみ第２実施例と異なるだけである。

次に、第４実施例における画像処理装置９６で複数枚の画像データを復元する動作をFIG. １０のフローチャートを参照して説明する。

画像処理装置９６において、ページメモリ９８から画像相関情報符号化データと基準画像データ符号化データとがデータ入力手段２４１に送られる（ＳＴ３１）。データ入力手段２４１は、入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段２４２に送り、入力される基準画像データ符号化データを復号化手段２４３に送る。画像相関情報復号化手段２４２に送られた画像相関情報符号化データは、画像相関情報に復号され（ＳＴ３２）、画像復元手段２４４に送られる。また、復号化手段２４３に送られた基準画像データ符号化データは、基準画像データに復号され（ＳＴ３３）、画像復元手段２４４に送られる。

画像復元手段２４４は、入力される画像相関情報と基準画像データとから複数枚の画像データに復元する（ＳＴ３４）。

上述したように第４実施例においては、基準画像データも符号化データとすることで、第２実施例よりもさらに通信量を削減することができる。

FIG. １１は、本発明の第５実施例に係る画像処理装置９６の概略構成を示すものである。FIG. １１において、画像処理装置９６の画像相関度向上手段２５１は、入力される複数枚の画像データ（２値画像）の画像相関度を向上させるため、画像間のハミング距離を小さくする順に画像データを並び換える。画像相関度向上手段２５１で並び換えられた複数枚の画像データは、画像相関情報抽出手段２５２に送られる。また、並び換えられた複数枚の画像データにおける最初の画像データを基準画像データとし、この基準画像データはデータ出力手段２５４に送られる。

画像相関情報抽出手段２５２は、入力される複数枚の画像データから最初の画

像データを基準画像データとして画像データ間の相関情報を抽出する。画像相関情報抽出手段 2 5 2 で抽出された画像相関情報は、符号化手段 2 5 3 に送られる。符号化手段 2 5 3 は、入力される画像相関情報を圧縮して画像相関情報符号化データとする。符号化手段 2 5 3 で圧縮された画像相関情報符号化データは、データ出力手段 2 5 4 に送られる。データ出力手段 2 5 4 は、入力される画像相関情報符号化データと基準画像データとを出力する。

次に、第 5 実施例における画像処理装置 9 6 で複数枚の静止画像データを各画像データの相関性を利用して効率良く圧縮する動作を FIG. 1 2 のフローチャートを参照して説明する。

まず、スキャナ部 1 で読み取られた複数枚の画像データが入力されたものとする (S T 4 1)。この複数枚の画像データは、帳票などの同一書式の下原稿画像が連続するものとする。

画像処理装置 9 6 において、入力された複数枚の画像データは、画像相関度向上手段 2 5 1 で画像間のハミング距離を小さくする順に画像データを並び換え (S T 4 2)、画像相関情報抽出手段 2 5 2 に送られる。また、画像相関度向上手段 2 5 1 で並び換えられた 1 枚目 (最初) の画像データが基準画像データとしてデータ出力手段 2 5 4 に送られる (S T 4 3)。

画像相関度向上手段 2 5 1 で並び換えられた複数枚の画像データは、画像相関情報抽出手段 2 5 2 で、並び順の前画像データと後画像データとのハミング距離と、前画像データと後画像データを平行移動処理した画像データとのハミング距離とを比較し、後者が小さいときは前画像データと平行移動後の後画像データとの対応画素位置での画素値の排他的論理和を画像データ順に演算することにより画像相関情報が抽出され (S T 4 4)、符号化手段 2 5 3 に送られる。画像相関情報は、符号化手段 2 5 3 で圧縮されて画像相関情報符号化データとされ (S T 4 5)、データ出力手段 2 5 4 に送られる。データ出力手段 2 5 4 は、入力される画像相関情報符号化データと基準画像データとをページメモリ 9 8 に出力する (S T 4 6)。

上述したように、第 5 実施例は、画像相関度向上手段 2 5 1 を用いて入力された複数枚の画像データを画像間のハミング距離を小さくする順に並べ換えるので、

第1実施例に比べて画像相関度を向上させることができる。

FIG. 13は、本発明の第6実施例に係る画像処理装置96の概略構成を示すものである。FIG. 13において、画像処理装置96のグレイコード化手段261は、入力される複数枚の多値画像データをグレイコードに変換する。グレイコード変換後の多値画像データは、最初（例えば、1枚目）の多値画像データを基準画像データとして画像相関情報抽出手段262に送られる。また上記基準画像データは、第1の符号化手段263に送られる。

画像相関情報抽出手段262は、グレイコード変換後の複数枚の多値画像データから基準画像データを含む画像データ間の相関情報を同一ビットの Exclusive OR（排他的論理和）により抽出する。画像相関情報抽出手段262で抽出された画像相関情報は、第2の符号化手段264に送られる。また、第1の符号化手段263は、入力される基準画像データを圧縮して基準画像データ符号化データとする。第1の符号化手段263で圧縮された基準画像データ符号化データは、データ出力手段265に送られる。第2の符号化手段264は、入力される画像相関情報の零値のラン（run）を調ベントロピ符号化して画像相関情報符号化データとする。第2の符号化手段264で符号化された画像相関情報符号化データは、データ出力手段265に送られる。データ出力手段265は、入力される基準画像データ符号化データと画像相関情報符号化データとをページメモリ98に出力する。

ここで、第6実施例に係るグレイコード化について説明する。多値画像の場合、 n ビット（bit）画像データをグレイコード化する。この m ビット目のプレーンを P'_{0_m} とする。

この相関情報の m ビット目のプレーンは、

$$d_{0_1_m}(i, j) = P'_{0_m}(i, j) \text{ EOR } P'_{1_m}(i, j)$$

・
・

のようにして得られる。

類似性の高い画像では、 $d_{1_1+1_m}$ に0が並ぶことになる。 n ビットデータとして見た d_{1_1+1} は連続する0が多発する画像データとなる。

また、第6実施例に係る第2の符号化手段264は、最初の画像データP'0及び画像相関情報(n-1枚)の零値のラン(run)を調べ、ランと非零値をハフマン符号化する。

次に、第6実施例における画像処理装置96で複数枚の静止多値画像データを各画像データの相関性を利用して効率良く圧縮する動作をFIG. 14のフローチャートを参照して説明する。

まず、スキャナ部4で読み取られた複数枚の多値画像データが入力されたものとする(ST51)。この複数枚の多値画像データは、帳票などの同一書式の原稿画像が連続するものとする。

画像処理装置96において、入力された複数枚の多値画像データは、グレイコード化手段261でグレイコードに変換され(ST52)、画像相関情報抽出手段262に送られる。また、グレイコード変換後の多値画像データは、最初の多値画像データを基準画像データとして第1の符号化手段263に送られる。この基準画像データは、第1の符号化手段263で圧縮されて基準画像データ符号化データとされ(ST53)、データ出力手段265に送られる。また、グレイコード変換後の複数枚の多値画像データは、最初の多値画像データを基準画像データとして画像相関情報抽出手段262で画像相関情報が抽出され(ST54)、第2の符号化手段264に送られる。この画像相関情報は、第2の符号化手段264で画像相関情報の零値のラン(run)を調べントロピ符号化して画像相関情報符号化データとされ(ST55)、データ出力手段265に送られる。データ出力手段265は、入力される画像相関情報符号化データと基準画像データ符号化データとをページメモリ98に出力する(ST56)。

FIG. 15は、本発明の第7実施例に係る画像処理装置96の概略構成を示すものである。本第7実施例では、第6実施例でグレイコード化して圧縮した画像データを復元し、さらにグレイコードから元のコードに復号する。

FIG. 15において、データ入力手段271は、入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段272に送り、入力される基準画像データ符号化データを復号化手段273に送る。画像相関情報復号化手段272は、入力される画像相関情報符号化データから画像相関情報を復号する。画像相関情報復

号化手段 2 7 2 で復号された画像相関情報は、画像復元手段 2 7 4 に送られる。
また、復号化手段 2 7 3 は、入力される基準画像データ符号化データから基準画像データを復号する。復号化手段 2 7 3 で復号された基準画像データは、画像復元手段 2 7 4 に送られる。画像復元手段 2 7 4 は、入力される基準画像データと画像相関情報とから複数枚の画像データを復元する。画像復元手段 2 7 4 で復元された複数枚の画像データは、グレイコード復号手段 2 7 5 に送られる。グレイコード復号手段 2 7 5 は、復元された複数枚の画像データをグレイコードから元のコードに復号する。

ここで、第 7 実施例に係るグレイコードから元のコードへの変換について説明する。この場合、ハフマン符号を伸張し、ラン (run) と非零値から $P' 0$ 及び $d_0, 1$ を得る。これより、

$P 1' _m(i, j) = \text{NOT}(d_0, 1_m(i, j)) \text{ AND } P' 0_m(i, j)$
から $P' 1$ を得る。そして、グレイコードから元のコードに変換して $P 1$ を得る。

この処理は、 $1 \sim n$ まで行う。

次に、第 7 実施例における画像処理装置 9 6 で複数枚の多値画像データを復元して復号する動作を FIG. 1 6 のフローチャートを参照して説明する。

画像処理装置 9 6 において、ページメモリ 9 8 から画像相関情報符号化データと基準画像データ符号化データとがデータ入力手段 2 7 1 に送られる (ST 6 1)。データ入力手段 2 7 1 は、入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段 2 7 2 に送り、入力される基準画像データ符号化データを復号化手段 2 7 3 に送る。画像相関情報復号化手段 2 7 2 に送られた画像相関情報符号化データは、画像相関情報に復号され (ST 6 2)、画像復元手段 2 7 4 に送られる。また、復号化手段 2 7 3 に送られた基準画像データ符号化データは、基準画像データに復号され (ST 6 3)、画像復元手段 2 7 4 に送られる。

画像復元手段 2 7 4 は、入力される画像相関情報と基準画像データとから複数枚の多値画像データに復元し (ST 6 4)、復元した複数枚の画像データをグレイコード復号手段 2 7 5 に送る。

グレイコード復号手段 2 7 5 は、復元された複数枚の多値画像データをグレイコードから元のコードに復号する (ST 6 5)。

以上説明したように上記発明の実施の形態によれば、複数枚の原稿を連続して読み取る機能を有する画像形成装置において、帳票などの同一書式の前稿画像が連続する場合、これを各画像データ間の違いのみを圧縮して圧縮率を向上することができる。

また、複数枚の画像データをプリンタ出力する際には、ページメモリに最初（あるいは1枚目）に送った画像との差分情報（画像相関情報）のみを送り、変更部分のみをページメモリ上で書き換えて通信量を大幅に削減することができる。

WHAT IS CLAIMED IS:

1. 同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データが入力された際、この複数の静止画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像関連情報を抽出する抽出手段と、
この抽出手段で抽出された画像関連情報を符号化データに符号化する符号化手段と、

この符号化手段で符号化された符号化データと上記基準画像データとを出力する出力手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

2. 上記複数の静止画像データは、複数の静止2値化画像データであることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

3. 上記抽出手段は、入力された複数の静止画像データから基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像関連情報を排他的論理和演算により抽出することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

4. 上記抽出手段は、上記基準画像データを含む複数の静止画像データの順序に応じて前画像データと後画像データの対応する画素位置での画素値の排他的論理和を演算することによりそれぞれの画像関連情報を抽出することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

5. 上記符号化手段は、ランレングス符号化により上記複数の画像関連情報を圧縮するものであることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

6. 基準となる基準画像データと複数の静止画像データ間のそれぞれの画像関連情報が符号化された符号化データとを入力する入力手段と、

この入力手段で入力された符号化データからそれぞれの画像関連情報を復号する復号化手段と、

この復号化手段で復号されたそれぞれの画像関連情報と上記入力手段に入力された基準画像データとから複数の静止画像データを復元する画像復元手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

7. 上記復号化手段は、上記符号化データからそれぞれの画像関連情報をランレングス符号の復号方法に基づいて復号することを特徴とする請求項6記載の画像

処理装置。

8. 上記画像復元手段は、それぞれの画像相關情報と基準画像データとから論理演算により複数の静止画像データを復元することを特徴とする請求項6記載の画像処理装置。

9. 上記画像復元手段は、それぞれの画像相關情報における基準画像データと次画像データに関する画像相關情報と基準画像データとの論理演算により次画像データを復元し、この復元された次画像データと次々画像データに関する画像相關情報と次画像データとの論理演算により次々画像データを復元し、さらに順序に応じた前画像データと後画像データに関する画像相關情報と復元された前画像データとの論理演算により後画像データを復元することにより上記複数の静止画像データを復元することを特徴とする請求項6記載の画像処理装置。

10. 同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データが入力された際、この複数の静止画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相關情報を抽出する抽出手段と、

この抽出手段で抽出されたそれぞれの画像相關情報を第1の符号化データに符号化する第1の符号化手段と、

上記基準画像データを第2の符号化データに符号化する第2の符号化手段と、

この第2の符号化手段で符号化された第2の符号化データと上記第1の符号化手段で符号化された第1の符号化データとを出力する出力手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

11. 上記第1の符号化手段は、それぞれの画像相關情報の零値のランを調べてエントロピ符号化することを特徴とする請求項10記載の画像処理装置。

12. 上記第1の符号化手段と上記第2の符号化手段とは、同一構成の符号化手段であることを特徴とする請求項10記載の画像処理装置。

13. 上記第1の符号化手段と上記第2の符号化手段とは、ランレングス符号化手段であることを特徴とする請求項10記載の画像処理装置。

14. 基準となる基準画像データを符号化した第1の符号化データと複数の静止画像データ間のそれぞれの画像相關情報が符号化された第2の符号化データとを

入力する入力手段と、

この入力手段で入力された第1の符号化データから基準画像データを復号する第1の復号手段と、

上記入力手段で入力された第2の符号化データからそれぞれの画像相関情報を復号する第2の復号化手段と、

この第2の復号化手段で復号されたそれぞれの画像相関情報と上記第1の復号化手段で復号された基準画像データとから複数の静止画像データを復元する画像復元手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

15. 上記第1の復号化手段と上記第2の復号化手段とは、同一構成の復号化手段であることを特徴とする請求項14記載の画像処理装置。

16. 上記第1の復号化手段と上記第2の復号化手段とは、ランレングス符号の復号方法に基づいて復号する復号化手段であることを特徴とする請求項14記載の画像処理装置。

17. 同一書式の原稿画像が連続する複数の静止2値画像データが入力された際、画像間のハミング距離を小さくする順に画像データを並び換えて画像相関度を向上させる画像相関度向上手段と、

この画像相関度向上手段で並び換えられた複数の静止2値画像データから、並び順に応じて前画像データと後画像データの対応する画素位置での画素値の排他的論理和を演算することによりそれぞれの画像相関情報を抽出する抽出手段と、

この抽出手段で抽出されたそれぞれの画像相関情報をランレングス符号化により符号化データに圧縮する符号化手段と、

この符号化手段でランレングス符号化された符号化データと上記画像相関度向上手段で並び換えられた1番目の画像データとを出力する出力手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

18. 前記抽出手段は、上記画像相関度向上手段で並び換えられた複数の静止2値画像データから、並び順の前画像データと後画像データとのハミング距離と、前画像データと後画像データを平行移動処理した画像データとのハミング距離とを比較し、前画像データと平行移動処理した画像データとのハミング距離が小

いときは前画像データと平行移動後の後画像データとの対応画素位置での画素値の排他的論理和を画像データ順に演算することによりそれぞれの画像相關情報を抽出することを特徴とする請求項 17 記載の画像処理装置。

19. 入力される同一書式の原稿画像が連続する複数の静止多値画像データをグレイコードに変換するコード変換手段と、

このコード変換手段でグレイコードに変換された複数の静止多値画像データのうちの 1 つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止多値画像データ間のそれぞれの画像相關情報を同一ビットの排他的論理和演算により抽出する抽出手段と、

この抽出手段で抽出されたそれぞれの画像相關情報の零値のランを調べエントロピ符号化して第 1 の符号化データにする第 1 の符号化手段と、

上記基準画像データを第 2 の符号化データに符号化する第 2 の符号化手段と、

この第 2 の符号化手段で符号化された第 2 の符号化データと上記第 1 の符号化手段で符号化された第 1 の符号化データとを出力する出力手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

20. 上記第 1 の符号化手段は、ハフマン符号化手段を用いることを特徴とする請求項 19 記載の画像処理装置。

21. 基準となる基準画像データを符号化した第 2 の符号化データと複数の静止多値画像データ間のそれぞれの画像相關情報を符号化した第 1 の符号化データとを入力する入力手段と、

この入力手段で入力された第 2 の符号化データから基準画像データを復号する第 1 の復号手段と、

上記入力手段で入力された第 1 の符号化データからそれぞれの画像相關情報をエントロピ符号の復号方法に基づいて復号する第 2 の復号化手段と、

この第 2 の復号化手段で復号されたそれぞれの画像相關情報と上記第 1 の復号化手段で復号された基準画像データとから論理演算により複数の静止多値画像データを復元する画像復元手段と、

この画像復元手段で復元された複数の静止多値画像データをグレイコードから元のコードに変換するコード変換手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

22. 上記第2の復号化手段は、ハフマン符号の復号化手段を用いることを特徴とする請求項21記載の画像処理装置。

23. 同一書式の原稿画像が連続する複数の静止画像データが入力された際、この複数の静止画像データのうちの1つを基準画像データとし、この基準画像データを含む複数の静止画像データ間のそれぞれの画像関連情報を抽出し、この抽出されたそれぞれの画像関連情報を符号化データに符号化し、この符号化された符号化データと上記基準画像データとを出力するようにしたことを特徴とする画像処理方法。

24. 基準となる基準画像データと複数の静止画像データ間のそれぞれの画像関連情報が符号化された符号化データとを入力し、この入力された符号化データからそれぞれの画像関連情報を復号し、この復号されたそれぞれの画像関連情報と上記基準画像データとから複数の静止画像データを復元するようにしたことを特徴とする画像処理方法。

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

スキャナ部で読み取られた複数枚の画像データが同一書式の下稿画像が連続する複数枚の静止画像であった場合、この複数枚の画像データを圧縮する際、画像相関情報抽出手段が複数枚の画像データの最初の画像データを基準画像データとしてそれぞれの画像相関情報を抽出し、符号化手段がこの抽出されたそれぞれの画像相関情報を圧縮して画像相関情報符号化データとし、データ出力手段が圧縮した画像相関情報符号化データと上記基準画像データとをページメモリに出力する。この圧縮した複数枚の画像データを復元する際、データ入力手段が、ページメモリから入力される画像相関情報符号化データを画像相関情報復号化手段に送り、基準画像データを画像復元手段に送り、画像相関情報復号化手段が画像相関情報符号化データをそれぞれの画像相関情報に復号して画像復元手段に送り、画像復元手段がそれぞれの画像相関情報と基準画像データとから複数枚の画像データに復元する。

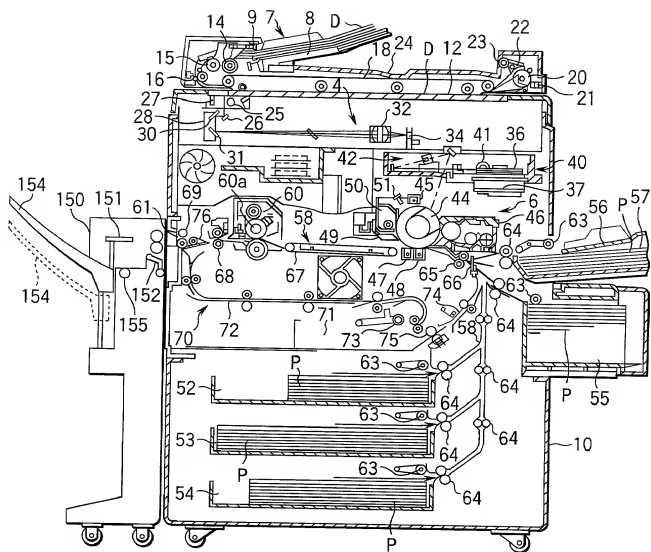


FIG. 1

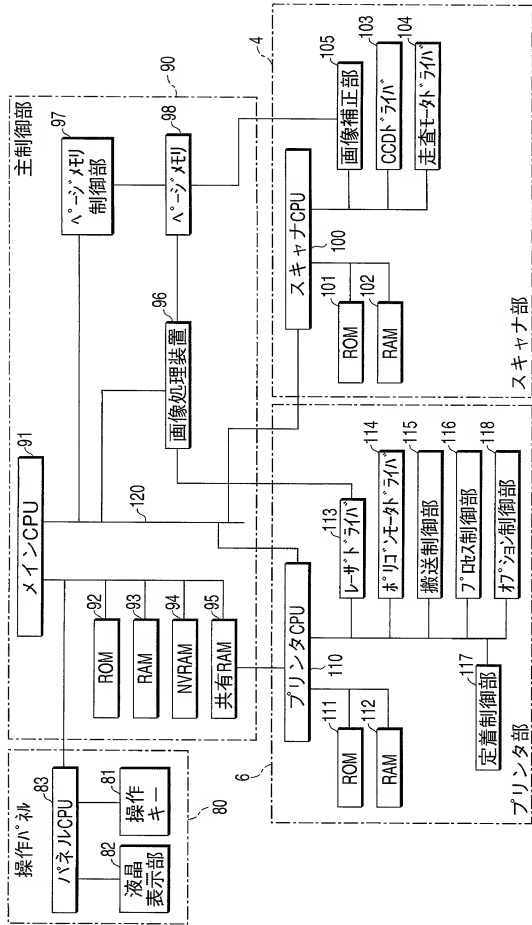


FIG. 2

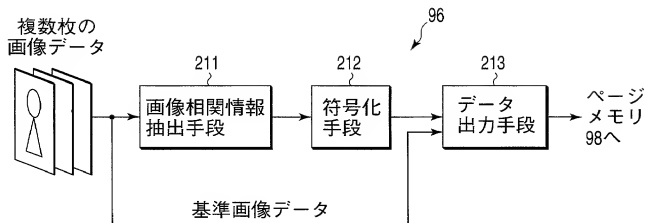


FIG. 3

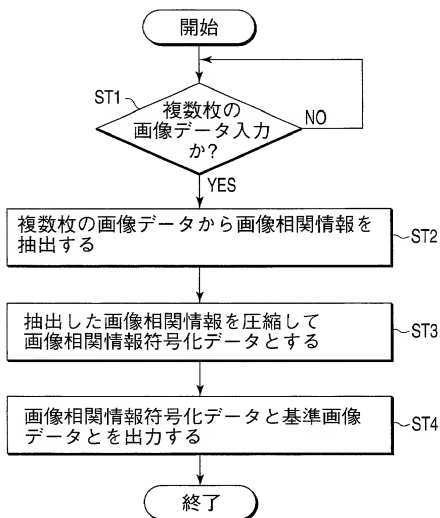


FIG. 4

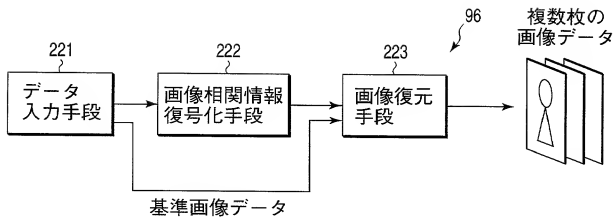


FIG. 5

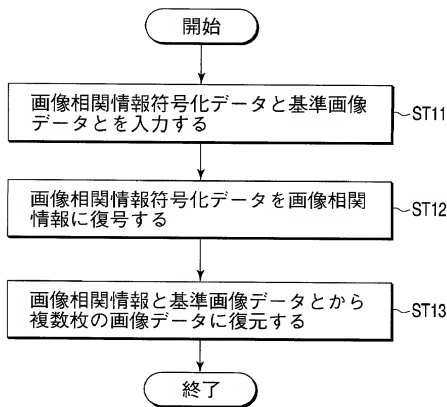


FIG. 6

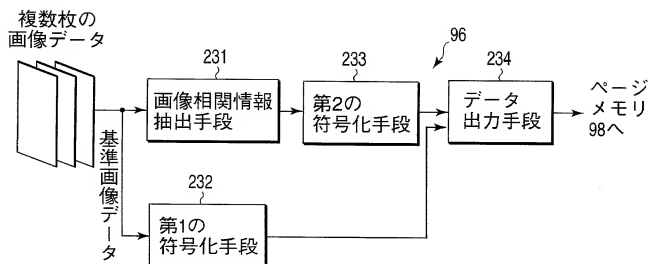


FIG. 7

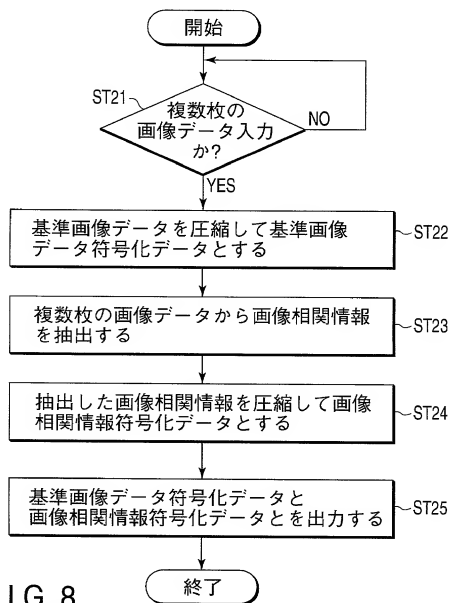


FIG. 8

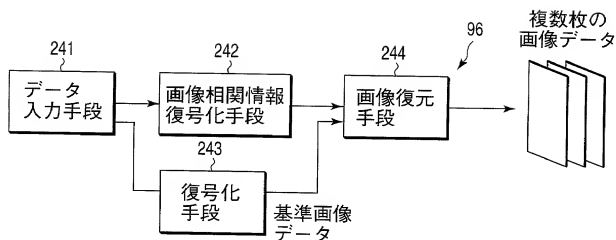


FIG. 9

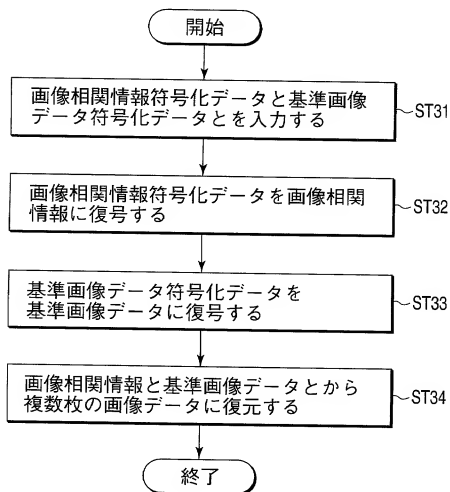
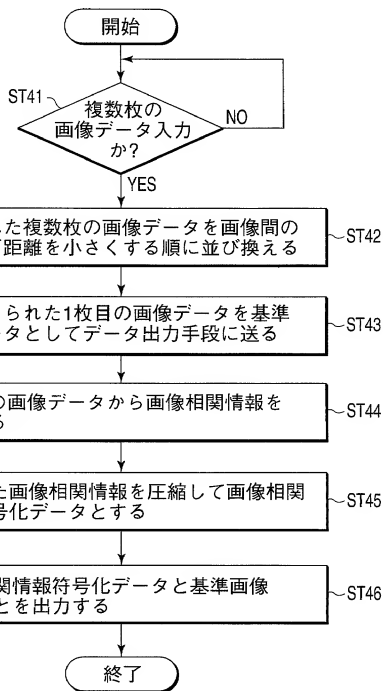
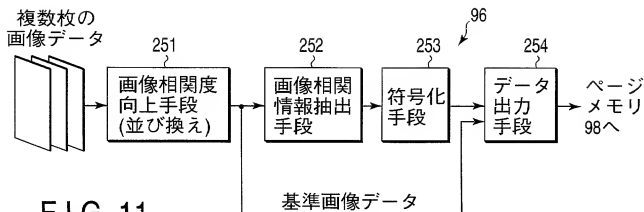


FIG. 10



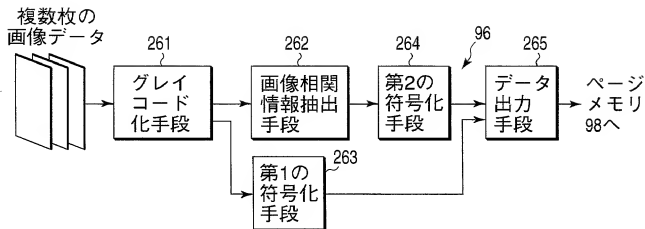


FIG. 13

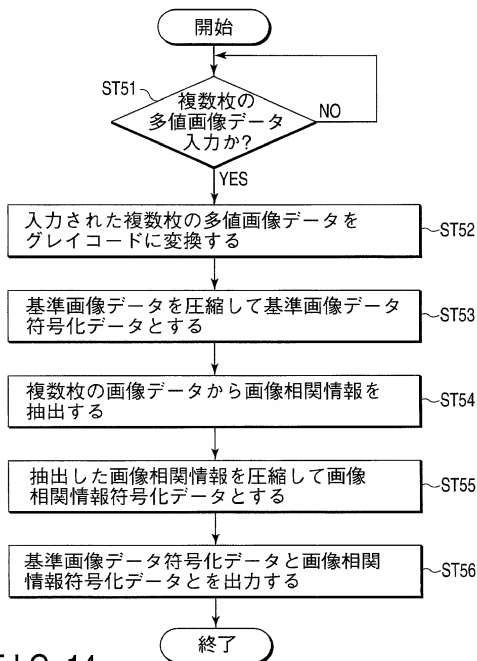


FIG. 14

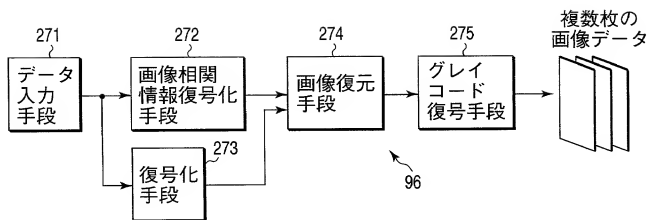


FIG. 15

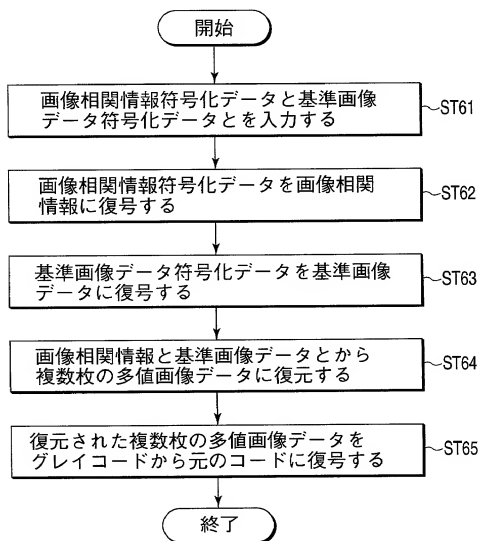


FIG. 16

DECLARATION FOR PATENT APPLICATION

0080509

As a below named inventor, I declare:

that I verily believe myself to be the original, first and sole (if only one individual inventor is listed below) or an original, first and joint inventor (if more than one individual inventor is listed below) of the invention in

IMAGE PROCESSING APPARATUS AND IMAGE PROCESSING METHOD

the specification of which is attached hereto unless the following box is checked.

☐ was filed on _____ as United States Application
or PCT International Application No. _____, and
was amended on _____ (if applicable).

I hereby state that I have reviewed and understand the contents of the above identified specification, including the claims, as amended by any amendment referred to above.

I acknowledge the duty to disclose information of which is material to patentability as defined in 37 CFR 1.56.

I hereby claim foreign priority benefits under 35 U.S.C. 119(a)-(d) or 365 (b) of any foreign application(s) for patent or inventor's certificate, or 35 U.S.C. 365(a) of any PCT International application which designated at least one country other than the United States, listed below and have also identified below any foreign application for patent or inventor's certificate, or PCT International application having a filing date before that of the application on which priority is claimed:

<u>Country</u>	<u>Category</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filing Date</u>	<u>Priority Claim</u>
----------------	-----------------	------------------------	--------------------	-----------------------

And I hereby appoint Stephen A. Bent (Reg.No. 29,768), David A. Blumenthal (Reg.No. 26,257), Beth A. Burrous (Reg.No. 35,087), Alan I. Cantor (Reg.No. 28,163), William T. Ellis (Reg.No. 26,874), John J. Feldhaus (Reg.No. 28,822), Patricia D. Granados (Reg.No. 33,683), John P. Isacson (Reg.No. 33,715), Michael D. Kaminski (Reg.No. 32,904), Lyle K. Kimms (Reg.No. 34,079), Kenneth E. Krosin (Reg.No. 25,735), Johnny A. Kumar (Reg.No. 34,649), Glenn Law (Reg.No. 34,371), Peter G. Mack (Reg.No. 22,749), Brian J. McNamara (Reg.No. 32,789), Sybil Meloy (Reg.No. 26,001), Richard C. Peet (Reg.No. 35,792), George E. Quillin (Reg.No. 32,792), Colin G. Sandercock (Reg.No. 31,298), Bernhard D. Saxe (Reg.No. 28,665), Charles F. Schill (Reg.No. 27590), Richard L. Schwaab (Reg.No. 25,479), Arthur Schwartz (Reg.No. 22,115) and Harold C. Wegner (Reg.No. 25,258), each of whose address is 3000 K Street, N.W., Suite 500, Washington, D. C. 20007-5109, or any one of them, my attorneys with full power of substitution and revocation, to prosecute this application and to transact all business in the Patent & Trademark Office connected therewith, and request that correspondence be directed to Foley & Lardner, 3000 K Street, N.W., Suite 500, Washington, D. C. 20007-5109.

I declare further that all statements made herein of my own knowledge are true and that all statements made on information and belief are believed to be true; and further that these statements were made with the knowledge that willful false statements and the like so made are punishable by fine or imprisonment, or both, under Section 1001 of Title 18 of the United States Code and that such willful false statements may jeopardize the validity of the application or any patent issued thereon.

DECLARATION FOR PATENT APPLICATION

I declare further that my citizenship, residence and post office address are as stated below next to my name:

Inventor: (Signature)

Date

Residence and post office address

Gaku Takano

Date: SEP. 14. 2000

Kureare-Toshiba-Nakadai,
33-12, Higashiteraonakadai,
Tsurumi-ku, Yokohama-shi,
Kanagawa-ken, Japan

Gaku Takano

Citizen of: Japan

Date: SEP. 14. 2000

12-12, Iwato 5-chome, Yokosuka-shi,
Kanagawa-ken, Japan

Takahiro Fuchigami

Citizen of: Japan

Takahiro Fuchigami

Date:

Citizen of: Japan

Date:

Citizen of: Japan

Date:

Citizen of: Japan

Date:

Citizen of: Japan

Date:

Citizen of: Japan

Date:

Citizen of: Japan